



救助犬との活動

2012年にはアギー号とともに、九州北部豪雨災害、2014年に広島市で発生した土砂災害にはモ力号と出動し、捜索活動を行いました。

また、昨年の熊本地震の際は出動要請を受け、4月15日にモ力号と益城町へ行き、全国から駆けつけた他の救助犬と協力して、倒壊家屋を中心に捜索活動

を行いました。

「当初、みなさん避難されていたので、捜索活動範囲は広くなかったのですが、その夜の本震発生後、とんぼ返りで益城町に入りました。15日に見た景色が一変していて、逃げ遅れた人がいなか必死に捜索しました」と振り返る河野さん。

災害現場は瓦礫や土砂などが散乱し、人はもちろん救助犬にとっても非常に危険な状況でした。河野さんは「人命救助では時

間が勝負です。人だけでは難しい捜索も救助犬が捜すことで発見につながるがあります。災害はいつ起こるか分からないから、いつでも出動できるように、常に車に荷物は用意していますよ」と救助犬の必要性を知るからこそ、日頃からいざという時に備えているとのこと。

今後もモ力号とともに災害救助ボランティアだけでなく、警察犬としての活動は続きます。

RESCUE + DOG Q & A

Q 救助犬は日頃からどんな活動をしているの？

A

救助訓練

実働に備えて、日頃から捜索現場を想定した訓練を行います。また、公共機関との連携を図るために、防災訓練にも積極的に参加しています。

日常生活

生活習慣の中で遊びや寝などを通して人間と犬の信頼関係を保ちます。

出動／救助捜索

出動依頼を受けると、さまざまな現場へ駆けつけ、警察・消防・自衛隊など公共機関と協力しながら捜索します。

Q 救助犬にはどんな犬種がなれるの？

A

犬種は問いません。それぞれの特徴を生かして活躍しています。

救助犬を募集されています。興味のある人はまずご連絡を！
問い合わせ／NPO法人九州救助犬協会
☎096-237-9991 九州救助犬協会 検索

多久市からのお知らせ

いざという時のための備えリスト

地震や災害はいつ起こるか分かりません。いざという時のために持ち出し品・備蓄品の準備をしましょう！

- ☐ ビニール袋、メガネ、常備薬、救急セット
- ☐ 携帯ラジオ、懐中電灯、笛やブザー（音で居場所を知らせるもの）
- ☐ 母子健康手帳、緊急時の家族・知人の連絡先 など

問い合わせ 防災安全課 ☎75-2181

